

基本評価シート

様式

北海道 釧路・鶴居区域

(北海道釧路総合振興局保健環境部環境生活課)

## 基本評価シート（ニホンジカ）

### 1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和6年度（2024年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（鶴居区域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	釧路総合振興局保健環境部 環境生活課自然環境係
担当者名	中野 未夢	担当者連絡先	0154-43-9154
捕獲実施事業者	（認定を受けている・ 受けていない）	予算額（※2）	195,038,000円
		予算額の内捕獲に 要する経費（※3）	108,148,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

### ○令和6年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

#### 〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
50頭	20頭	40%

#### 〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
73万頭※ (個体数指数：東部148、北部127、中部112、南部388)	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
35,232頭(R5)	61,491頭(R5)	58,803頭(R5)

※令和5年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3~22万頭の間と推定

### ○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。
--

2. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。  <input type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。  <input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。            ※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<p><input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。</p>
実施期間	令和6年10月22日～令和7年3月14日(※委託期間)
実施区域	<p>鶴居区域(鶴居村幌呂)            [鶴居幌呂特定猟具禁止区域、釧路湿原国立公園隣接]            当該地は釧路国立公園、国指定鳥獣保護区に隣接しており、国立公園内等においては、採食や踏み荒らし等の被害が発生しており、周辺森林においても、植生への被害が問題となっている。</p> <p>また、特定猟具禁止区域内であるため、銃での捕獲ができず捕獲が進みにくい場所である。冬期には可猟区からの逃げ込み場所になっている上、夜間に出没する傾向がある。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入            ※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所：希少種等の情報提供や捕獲事業の情報共有を図る。</li> <li>・林野庁北海道森林管理局：国有林内で実施する際の入林等手続き及び捕獲事業の情報共有を図る。</li> <li>・(地独)北海道立総合研究機構：捕獲手法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。</li> <li>・地元市町村等：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。</li> <li>・北海道立総合研究機構：捕獲方法や分析等の助言など効果的な事業実施に向けた連携を図る。</li> </ul>
事業の捕獲目標	<p>(40%達成)  <math display="block">= ( 20 \text{ 実績値} ) / ( 50 \text{ 目標値} )</math></p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃                      <input type="checkbox"/> 巻き狩り                      <input type="checkbox"/> 忍び猟  <input type="checkbox"/> モバイルカリング              <input type="checkbox"/> 夜間銃猟  <input type="checkbox"/> その他 (                      )</p> <p>【わな猟】</p> <p><input type="checkbox"/> くくりわな                      <input type="checkbox"/> 箱わな                      <input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな  <input type="checkbox"/> その他 (                      )</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)  <input checked="" type="checkbox"/> 写真(証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影することとし、またGPS機能付きのカメラ(スマートフォンを含む)で撮影し、データも併せて添付する。)  <input type="checkbox"/> その他 (                      )</p> <p>※複数チェック可。</p>

捕獲個体の処分	<p>捕獲個体の処分について</p> <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	<p>わなによる錯誤捕獲について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。
	<p>わなによる錯誤捕獲の未然防止について</p> <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 (内容：ライブカメラ映像を見ながらのゲート操作により、これまで錯誤捕獲されたことはない。) <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。
	<p>鳥類の鉛中毒等について</p> <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。
	<p>鉛製銃弾について</p> <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	<p>捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、及び事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。</p> <p>捕獲事業の実施にあたっては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図った。</p> <p>捕獲事業の実施期間は、実施場所入口に注意看板を設置させた。実施区域へ立ち入る際に腕章を着用させ、捕獲事業者であることを明確にした。</p> <p>また、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。</p>
捕獲従事者の体制	<p>【雇用体制】</p> 捕獲従事者数：4人 (内訳) 正規雇用者： 4人、期間雇用者： 人 日当制： 人

### 3. 令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

#### ○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	<p>評価：今年度は積雪量が平年と比べて少なかったため、捕獲があまり進まなかった。誘引餌を変えてからは、シカが集まるようになり、捕獲頭数が伸びた。目標頭数には及ばなかったものの、釧路湿原や周辺牧草地に現れる個体の捕獲ができたことで、農業及び生活環境被害防止になったと考える。</p>
	<p>改善点：事前のカメラ調査からエゾシカの移動ルートを事前に把握しておくことが、簡単に移動できない困いわなでの捕獲をする上で非常に必要であると感じた。</p> <p>誘引餌を変えた時期が捕獲開始から1ヶ月後となったが、業者と相談し、もう少し早めに対応できると良かった。</p>

【実施期間】	評価：例年通りの実施期間を確保できた。
	改善点：11月に1度クマの出没があり、わな設置が遅れてしまった。全道的にクマの出没が増加傾向にあるため、クマの出没を見越して関係機関との調整を行い、捕獲計画を作成することが必要であると考ええる。
【実施区域】	評価：鶴居村での捕獲事業は5年ぶりの実施だった。実施場所隣接牧草地の利用者にも調整会議に参加していただき、シカの被害で困っている話を事前に聞き取れた。釧路湿原にも近い区域で、湿原を利用するシカの捕獲にもつながった。
	改善点：6月に自動撮影カメラの設置したため、冬期間のエゾシカの動きが把握できなかった。可能であれば冬期間のエゾシカの動きが把握できると良い。
【捕獲手法】	評価：夜間に出没が多く見られる区域のため、囲いわなでの捕獲は有効であった。生体捕獲した個体は有効活用した。
	改善点：構造物に対する警戒心が強く、囲いわなへの馴化期間をもう少し取れたら良かった。
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	評価：過年度に実施した本事業と同様に、高い捕獲技術を有する認定鳥獣捕獲等事業者が受託したことから十分な体制であったと考える。
	改善点：例年同じ事業者が受託しており、捕獲手法に幅が少ない。
【個体処分】	評価：有効活用可能な個体は一時養鹿場施設へ搬送され、適正に処理された。
	改善点：有効活用のため生体捕獲できるように考慮することで捕獲場所が制限されている。捕獲数を見込める場所に重点を置き捕獲場所を選定する方が良いと考える。
【環境配慮】	評価：ホカクンでの固定カメラを活用し、遠隔操作での捕獲が行われているため、錯誤捕獲や騒音等はなく、環境への支障は生じなかった。
	改善点：特になし。今後も同様の配慮を継続する必要がある。
【安全管理】	評価：地域住民への事前周知、現地入口等での注意看板設置、当日の保安要員配置、及び捕獲従事者の事前打ち合わせ等に加え、狩猟事故防止のため改めて安全確認を行うことで安全管理体制を確保した。
	改善点：新たな捕獲手法を導入する場合は、適宜新たに適切な安全管理体制を構築する必要がある。
3. その他の事項に関する評価及び改善点	
<p>今回設置した固定カメラを継続して設置する、また、隣接牧草地利用者への聞き取りを行い、今回の捕獲事業による成果として、どのくらい効果があったのか把握する。GPSをつけた個体のデータから、どこが利用されているのか把握し、関係団体へ共有する。</p>	
4. 全体評価	
<p>農業及び生活環境被害防止という事業目的に貢献はできたが、目標頭数には及ばず、次年度以降は積雪が少ない場合の効果的な捕獲に向けて捕獲手法も含めて工夫する必要がある。</p>	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

令和6年度の実施地は釧路湿原国立公園、牧草地、市街地に隣接した区域となっており、生物多様性への影響の軽減、周辺地域の農林業被害及び市街地への出没を軽減させるほか、銃猟禁止区域等の法令で狩猟が制限されている箇所を実施することによりエゾシカの逃避地を作らせないことによる地域全体の捕獲効率向上を期待している。

今後は、例年行っている自動撮影カメラによるモニタリングに加え、生体捕獲個体へのGPS装着による移動ルートの把握といった生息状況調査を実施し、鶴居村等の関係機関に情報共有することで、より効果的かつ効率的なエゾシカ対策の推進につなげる。

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ( )	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

項目	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUEの地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUEの地図を作成できない
SPUEの地図	<input type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図

	<input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input checked="" type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する 上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数<sup>※1</sup>： \_\_\_\_\_ 人日

事前調査人日数概数<sup>※2</sup>： \_\_\_\_\_ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： \_\_\_\_\_ 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟） のべ人日数	_____ 人日	_____ 人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数<sup>※1</sup>： \_\_\_\_\_ 121 人日

事前調査人日数概数<sup>※2</sup>： \_\_\_\_\_ 16 人日

出猟（捕獲作業）人日数： \_\_\_\_\_ 105 人日

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	_____ 121 基日	_____ 107 基日	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	_____ 頭	_____ 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	_____ 頭	_____ 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数 <sup>※1</sup>	CPUE <sup>※2</sup>	SPUE <sup>※3</sup>
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和6年度 (事業年度の値)	令和5年度 (前年度の値)	増減の傾向
① 捕獲数	20 頭	47 頭	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.9	0.87	<input checked="" type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.05	0.28	<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少

令和6年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数 <sup>※1</sup>	CPUE <sup>※2</sup>
<input type="checkbox"/> くくりわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 箱わな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 囲いわな	20 頭	105 基日	0.19 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ( )	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:わな稼働総数には捕獲を実施していない誘因期間は含まない。

※2:CPUE=捕獲数/わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

## エ) 捕獲個体の適切な処理

処理にかかる人工概数： \_\_\_\_\_ 人・時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： \_\_\_\_\_ 19 個体

### 適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、生体で捕獲した個体については、捕獲頭数がわかるように捕獲時の全景に、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

捕獲した個体の処理については、発注段階から受入予定先を明記し、受託者が有効活用事業者と調整しながら捕獲事業を実施することとしており、納入結果についても報告させている。

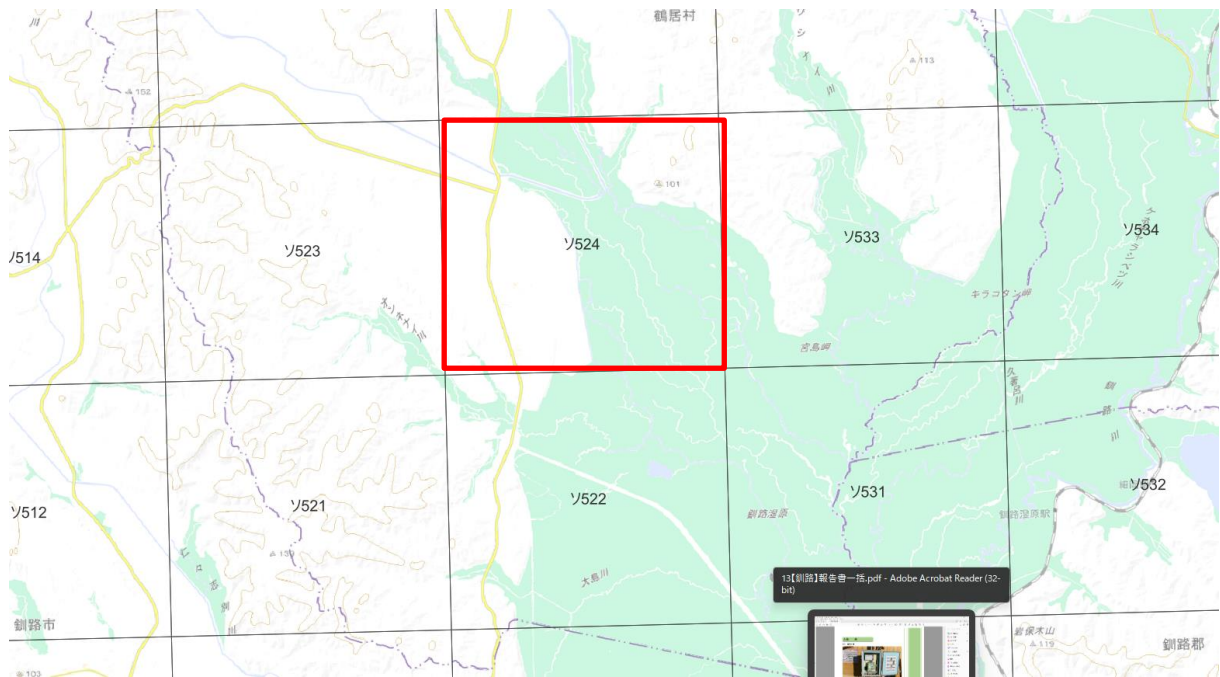
【位置图】



【区域图】



○概況図



捕獲数 : 20 CPU : 0.19